

公約遂行検証フェーズ「進め方」

公約を短期、中期、中長期の順に遂行状況を検証

■再起動プロジェクト分科会 = 進捗状況について検証

■(部長連絡会議開催後)

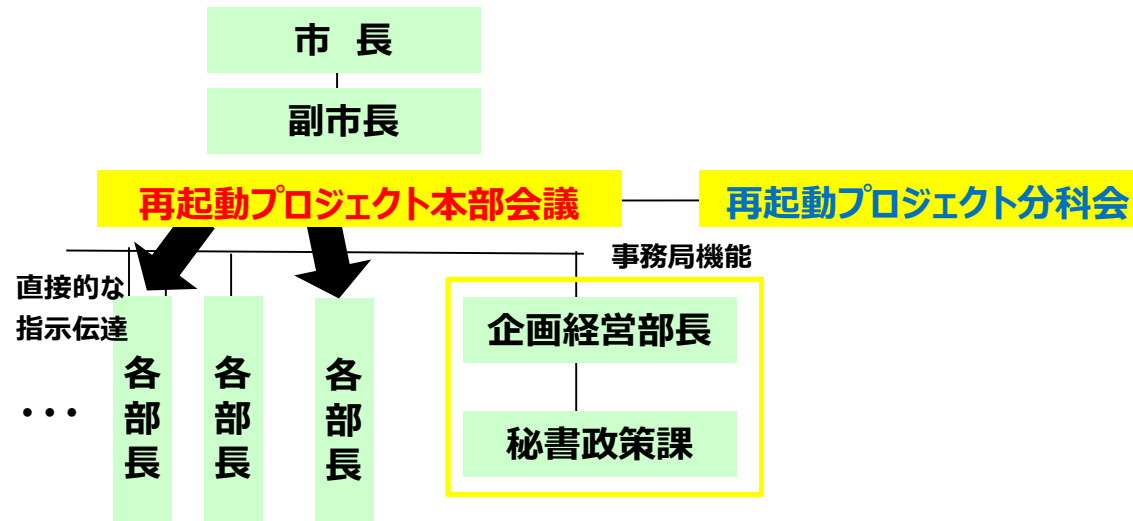
再起動プロジェクト本部会議 = 進捗状況報告・指示を受ける



全公約についてこのステップを進める

一年に2度、公約進捗を確認する仕組み

公約遂行検証フェーズ「体制」



■再起動プロジェクト本部会議

…市長、副市長、教育長をはじめとした部長連絡会議出席者(部長級以上)に加え、議論対象の課長は参加可能。

※外部アドバイザー

■再起動プロジェクト分科会

…※副市長、(毎回変更する)ヒアリング対象の部長及び課長、企画経営部長、秘書政策課長、財政課長、資産活用課長、秘書政策課内事務局、外部アドバイザー

公約遂行検証フェーズ「今後のスケジュール」

- ・12/26 再起動プロジェクト本部会議 = 秘書政策課所管の公約について進捗状況報告・指示を受ける
- ↓
- ・2/6 再起動プロジェクト分科会 = 進捗状況について事業化シートをもとに検証
- ↓
- ・2/13 再起動プロジェクト本部会議 = 報告・指示
- ↓
- ・令和4年度に達成する公約から検証を始め、短期・中期・中長期の順に進める

公約遂行検証フェーズ「第1回 あんなか再起動プロジェクト本部会議結果」

公約名	内容	区分	指示事項
市内の高校との連携強化	政策形成過程に高校生の意見を取り入れる事業として実施	短期 (R5)	第3次総合計画の政策形成段階に意見反映させる方向で指示。着手中。
市と民間企業との協力推進	連携協定を行っている各課で協定先企業を集めた協議の場をもち、協力体制を推進する。	短期 (R5)	庁内の協定先企業、協定内容を整理、一覧化する方向で指示。着手中。
機動力機動力のある行政組織改革	公約実現に向けた組織体制の確立と、部制も含め人員配置を長期的な視野で検討を進める。	短期 (R5)	行政組織機構案を示し、必要な手続きを進めることを指示。着手中。
徹底した事業のスクラップ&ビルド推進	行政評価の結果を実行するため、改善策に対する検討の場(行革推進会議)を設ける。	短期 (R5)	改善シートを作成し、改善が進まない事業に対してヒアリングを実施する方向で指示。着手中。
若者の意見を反映できる仕組みづくり	若者の意見を政策形成の過程で考慮し、各種政策-施策-事業に反映させる。	短期 (R5)	モニター登録なども含め、リアルとデジタルの両面からの意見の吸い上げ、反映を実施する方向で指示。着手中。
市有施設のあり方見直し推進	行政改革審議会の諮問事項を「公共施設の利活用」とすることで指示を受け検討・実施中	中期 (R7)	市有施設の利活用案を行政改革審議会に諮問事項とし実行していく方向で指示。着手中。
SDGsの推進	総合計画に組み込む形で効率性・有効性を図る。	中期 (R7)	小中学校でSDGをテーマとして授業を開催する。また、第3次総合計画にSDGsのKPIを取り入れる方向で指示。着手中。